

5. 展開例

≪第一部≫ 点火の儀式

プログラム	司会のことば	備考
1. 入場		・中央の井桁を囲むように、一列で静かに入場する
2. 点火の儀式	・今からキャンドルサービスを始めます ・みんなで「遠き山に日は落ちて」を歌いましょう	・全員で「遠き山に日は落ちて」を歌う ・2番からはハミング
3. 火の神、火のミコの入場		・「遠き山に日は落ちて」がハミングになったら、点火した大キャンドルを持った火のミコ、その後ろに火の神の順でゆっくりと入場し、シヨク台の周りを1周して定位置につく
4. 開会の言葉	・点火の儀式です ・火の神よりお言葉をいただきます	
5. 誓いの言葉	・火の守は火の神の前に並んでください ・火の神から山の火を受け取ってください	・火の守は自席から中央に出て、火の神の前に並ぶ ・火の神「お前には〇〇の火を授ける」 ・順番に一礼して火のミコの大キャンドルから自分のキャンドルに火をもらい、誓いの言葉を使う ・火の守「わたしは、～します」
6. 点火	・それぞれの火を受け取りましたね ・それでは、点火です	・火の守は、シヨク台の四方に立ち、キャンドルに火をつける ・火のミコはシヨク台に自分のキャンドルをさす
7.	・「 」を歌いましょう	
8・火の神、火のミコ、火の守退場	・これで、点火の儀式を終わります	・歌を歌っている間に、火のミコ、火の守はその場を静かに去る ※ 実情に応じて、火の神も退場してもよい

《第二部》 スタンツ

《第三部》 消火の儀式

プログラム	司会のことば	備考
1. 消火の儀式	<ul style="list-style-type: none"> ・今日のキャンドルサービスも終わりが近づいてきました。 ・消火の儀式です 	<ul style="list-style-type: none"> ・全員起立し、小キャンドルと受け皿を一本ずつ手に持つ ・火の守は大キャンドルと受け皿を持つ
2. ショク台から山の火をとる	<ul style="list-style-type: none"> ・火のミコはショク台から山の火のキャンドルをとってください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・火のミコは中央のキャンドルを自分の受け皿に移動する
3. 火の神による閉会の言葉	<ul style="list-style-type: none"> ・火の神からお言葉をいただきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・思い出を胸に残すような短い言葉を述べてもらう。 ・火の神は、閉会の言葉の後、火のミコとともに退場する
4. 分火	<ul style="list-style-type: none"> ・火の守は、ショク台から自分のキャンドルへ火を移してください。 ・みなさんは、火の守から受け取った火をとなりの人に分けてください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・火の守は自分のキャンドルに火を移したら、ショク台の火を順番に消していく。 ・火の守は自席へ戻り、両隣りの人に火を分ける ・順々に全員のキャンドルに火がついていく <p>※キャンドルを見つめながら、司会者の詩の朗読を聞いてもよい</p>
5. 別れの歌	<ul style="list-style-type: none"> ・別れの歌「 」を歌いましょう ・では、今日の思い出を胸に、キャンドルの火を消しましょう 	<ul style="list-style-type: none"> ・「一人ずつ」、「一斉に」など
6. 退場	<ul style="list-style-type: none"> ・これでキャンドルサービスを終わります。静かに退場しましょう 	<ul style="list-style-type: none"> ・司会者の「終わります」で電灯をつける。小キャンドルと受け皿を返して、静かに退場する。